

## みどりみらい 2nd SEASON ぐんじとしのりの議会報告

2005/06/24 Vol. 61 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362  
E-MAIL ID / mmirai@kitemachi.com

### 印西市議会/平成 17 年第 2 回定例会報告 ( 1 )

いつもお世話になっております。印西市議会第 2 回定例会 ( 6 月議会 ) は、6 月 24 日 ( 金 ) までの会期にて行われ、現在休会中です。今回は、私の議会での提言と皆様からの質問に応える形で「印旛高校」の移転問題についてご報告していきたいと思ひます。

#### 6/14 ( 火曜日 ) に、代表質問に立ちました。～ 北総線に向けての提言

市議会会派「市民自治ネットワーク ( ぐんじとしのり、ますだようこ )」代表質問として、牧の原地区に来店する自動車問題を取り上げました。その際に、印西市として進出企業に駐車場を増設を要請するだけでなく、北総線を使わせるような解決法を考えるように、印西市が主体的に動き、北総鉄道を含めた交渉の場を考えるべきだとする提言を行いました。以下に抜粋して、その内容を掲載します。

= ( ぐんじとしのりから印西市への提言と質問 ) =  
私が問題としてとりあげているのは、「464 号線あまりにも、混雑するからなんとかしろ」という市民の声であり、もちろん私も同じように考えています。

印西市は交通問題にどう取り組むか。大きなテーマです。  
牧の原には、これから、牧の原モアができます。ビッグホップができます。  
駐車場はこの地区だけで 10000 台を超えると予想されます。全て車で来店させるのでしょうか？

今、この牧の原地区に来るのは、車がほとんどだと聞いています。  
「ジョイフル本田」ができたからといって、北総鉄道の輸送人員は変わらないそうです。よく考えていただければ、わかんと思ひますが、ホームセンターに来て大きな荷物を持って帰るのに電車に乗るのは、まず考えられない。しかし、これからできる施設はどうでしょう？

これは牧の原に限らずニュータウン中央のジャスコ、ここも 3 倍に増床されると聞いていますが、必ずしも車で来る必要はないわけですね。牧の原の商業施設、NT 中央の商業施設はニュータウンの人だけを見込んで、建設するわけではないはずですからこのような人たちを少しでも電車に取り込めれば北総鉄道に対するメリットにならないのでしょうか？「ジョイフル本田」では年間 750 万人来店を目標としています。県内ではディズニールランドの次に集客ができる施設です。さらに今年の秋に「牧の原モア」ができます。そして最後にミキシングが建設する「ビッグホップ」で人が集まってきますということになれば、やはりここは、千葉ニュータウンにやってくる 750 万人の 1 割でも 2 割でも電車に乗せる案を考え、北総鉄道に提示していく必要があるではないか。  
一案を申しあげますが、例えば NT 地区 ( 千葉ニュータウン中央 / 印西牧の原 ) ~ 新鎌ヶ谷間 ( 電車に ) のりほうだい ¥ 500 ( 1 日 )、土日祭日は空気を運んでいるような電車ですが、それよりは、車のない方々にもこの街にやってきていただく方策が必要なのではないか。

東京にいく流れを、東京からの流れに変える必要がある。やはり進出企業にも協力していただき、駅と商業施設の間を循環させる、「船橋のららぽーと」のような無料バスを走らせる。このようなことを案として提案すべきだと思います。実際に、牧の原のヤマダ電器がオープンした時、「駅～ヤマダ電器」のシャトルバスが運行されましたが、電車の方が車で来るよりもメリットがあると思わせることが必要だと思います。

再質問します ( ぐんじ注 / この提言、質問の前に牧の原地区の交通問題を取りあげております ) が、

千葉ニュータウンにやってくる 750 万人の割でも二割でも電車に乗せる案を考え、北総鉄道に提示し、実現につなげていく必要があるではないか。進出企業と北総鉄道、都市機構、企業庁、印西市と一緒に交通問題を考える席を設けていく必要があるのではないか。

どのように市としては今後考えるか。ご回答をお願いします。

#### (回答/市長(要旨))

ご提案いただきましたことにつきましては担当に調整させております。市として、出店企業/出店予定企業の方々と、協議会を設置予定でございまして、循環バス、北総鉄道への働きかけを行っていきたくと思います。しかし、一気に全部というわけにもいきませんので、そのご提案については真摯に対応していきたくと思っております。

#### (ぐんじとしのりより市民のみなさまへ)

今、北総鉄道に伝えたい内容を今回は議会できりあげたつもりです。今回の提言には多くの市民の皆様からご助言をいただきました。ありがとうございます。心より感謝します。この案件は、実現するまで皆様と手をとって、知恵を出し合い、実現にむけて働いていきますので、引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。なお、今回の提言をもって、北総鉄道の担当役員とも話し合いを行っていきたくことをあわせてご報告いたします。

### 印旛高校移転問題の現状について ~ 移転は決定していません。

平成16年5月に発表された県立高等学校再編第2期実施プログラムでは、印旛高校を平成21年に千葉ニュータウン地区に移転および単位制を導入することを「検討する」ことを明記しておりますが、移転場所や具体的なスケジュールは明記されておられません。

#### 千葉県庁へ行ってきました。

4月11日(月)と6月7日(火)に開催された「千葉県大規模公共事業等事前評価委員会」の傍聴に行ってきました。その内容を抜粋し、以下に記載します。

(千葉県教育庁企画管理部では「千葉ニュータウン地区高校整備事業(印旛高校移転事業)」について、「大規模公共事業等事前評価自己調書」を作成し、この調書の提出を評価委員会に\*対して行い、この調書を受けて既に5回の委員会が開催されております。)

- \* 千葉県大規模公共事業等事前評価制度は、県財政に与える影響が大きく県民の関心も高い大規模な公共事業等について、事前に事業着手の妥当性を検証し、県民や専門家などの意見を聴きつつ対応方針の決定に資するとともに、それらを公表し、意思形成過程の透明化を図り、県民への説明責任を果たそうとするものです。

この委員会では、印西市議会で問題点としてあがっている項目と同様に、「なぜ、当該用地(ジョイフル本田西側)なのか」、「印旛高校を安易に移転すべきではない」と同趣旨の疑問が出されております。また、「本当に確実に活用される高校用地は、もっと違う場所に整理されて然るべきなのではないか。今まで、想定していないところに高校を設置しようとする、下水道とか、水周りとかの様々なインフラ整備が余計にかかってしまうが、敷地は高くなってしまふかもしれないけども、インフラ整備としてはコストのかからない場所があるのではないかと考えます。」といった疑問が出されております。

今回、評価委員会からこの案件に対する意見書(案)が提出され、次回の評価委員会にて再度協議されます。意見書が千葉県に提出された後、千葉県による移転場所の正式決定、県議会による予算承認。これらの段階を経た後、「市有地の売却」という市議会の承認が出てはじめて「移転の正式決定」となります。(全て承認が出て後の事業開始となり、その場合「平成21年度の開校を目指す」こととなります。)

いつもご声援、ご支援ありがとうございます。次回も引き続き、定例会および以前に開催した臨時議会の報告を中心に行ってまいります。この紙面へのご意見に限らず、市政全般へのご提言、ご批判、皆様からのご相談はいつでも承ります。あるべき市政の姿を求めて皆様と手を携えていきたくと思っております。よろしくお願い致します。

ぐんじとしのり